

われわれの病院・診療所は
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス
https://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮野 暁
月一回発行 1部 50円

「平和か戦争の道か」岐路の年

平和で安心して暮らしていける地域づくりをさらに!!

高橋稔先生講演に85人参加

11月22日(火)、二和公民館・講堂で平和学習会を開催しました。

今回は高橋稔先生講師で、「原爆放射能の人体への影響」というテーマでわかりやすく話され参加者は85人でした。

講義では、原爆・核兵器の被害について広島では14万人、長崎では7万人の人が一瞬のうちに熱風、放射能熱射で亡くなりました。核兵器は「大量殺りく兵器」であって決して「平和の兵器ではない」と強調されました。



が人体に与える影響では、原爆が落とされたとき放射能がどのように人体を傷つけたのか、放射能を浴びると人体はどうなるのか、初期放射能と残留放射能、急性障害と後障害について詳しく話されました。

原子爆弾は通常の兵器と違って放射能の被害は子々孫にまで継続して原爆被害者を苦しめることを強調されました。

放射能の犠牲は広島・長崎ではなく、原爆による放射線障害と原子力発電所による放射線障害について詳しく話されました。

高橋先生は40年にわたって被爆者健康診断を実施して来られました。また、国に対する原爆認定訴訟を20年以上取り組み勝利に導きました。

「2度と再び被爆者をつくらない」「すべての核兵器を地球上からなくそう」と強調されました。

参加者からは「むずかしい内容をやさしくお話しされ、よくわかりました」「被爆者の方は身体的にも、精神的にも傷ついて大変な人

生を送ってこれたことがよくわかりました」「戦争は絶対やってはならない。戦争だめだ」「先生のお話

しはよく理解できました」との感想が多く寄せられました。

軍事対軍事ではなく、外交による平和の流れを!!

ロシアは、核兵器の使用をちらつかせウクライナへの侵略を続けています。北朝鮮のミサイルの発射など世界平和が脅かされています。核兵器禁止条約に反対し、憲法9条改憲にむけ突き進んでいます。

暮らし壊す大軍拡・大増税改憲反対を!!

岸田首相は、安保3文書で歴代自民党政権が踏み込まなかつた「専守防衛」を捨て、日本がどこからも攻撃されていけないのに、敵の基地の攻撃を可能にする敵基地攻撃能力の保有などの

戦争に日本が参戦することを具体化するものです。また、その財源としての大増税を打ち出しました。それによると、2023年度から2027年度までの5年間で、現行の1.5倍超となる43兆円に軍事費を増額する計画です。また、2027年度までに所得税、法人税、たばこ税の増税、許せないことには、復興特別税などで1兆円強の財源を確保すると明記しました。



介護負担増結論先送り 私たちの運動の成果も 残る危険

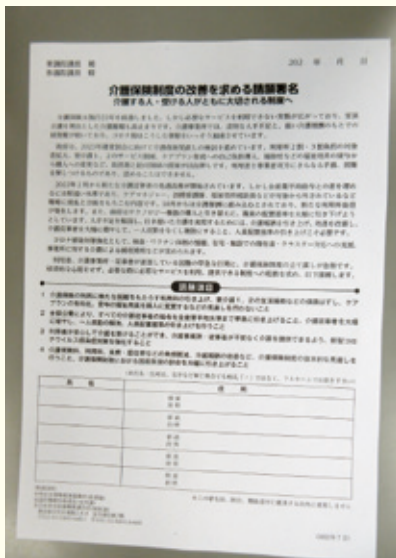
厚生労働省は2022年12月19日、2024年度の介護保険制度改定に向けて議論している社会保障審議会の部会で、利用料2割負担の対象者拡大や老健施設などの多床室の有料化などについて結論を2023年に先送りする方針を示しました。短期間に20万人超の反対署名は集まるなど、世論と運動に追い詰められた結果です。しかし、議論は今年継続するとして依然実施を狙っています。

これらは今年の通常国会に提出に見込みの介護保険法改定には盛り込まれず、国会審議を経ずに政府の裁量で大幅な負担増が強行される危険があります。

同部会では、制度見直しに向けた「意見」案を大筋了承しました。厚労省は部会に7項目の負担増・給付削減を提案。このうち利用料2割負担の拡大と65歳以上で一定所得がある人の保険料の引き上げについて、「遅くとも来年夏までに結論を得るべく」同部会で議論を続けるとしました。同省担当者は、利用料3割負担の対象者の対象拡大については継続議論の対象としない考えを示したものの、「意見」案では、「引き続き検討」とし、27年以降に可能性を残しています。

多床室の部屋代は、社保審の別の分科会に舞台を移して議論を継続します。要介護1、2の訪問介護などの給付外とケアプラン有料化は24年度実施を見送りました。他方で、27年度の改定までに「結論を出すことが適当」とし、改悪を諦めない姿勢を示しています。

7項目をめぐっては、委員から利用控えや高齢者の重度化、家族の介護負担増を招くなどと批判が噴出。民医連や船橋二和病院健康友の会は署名や声明、集会などを通じ反対の声を上げてきた運動を広げてきました。結論の先送りは、国会審議や今春の統一地方選での争点化を避けようとするもので、改悪阻止へいっそう声を上げることが求められます。



大軍拡・大増税許さないたたかいを広げ、憲法9条を守り、日本を戦争する国にしないため、みなさんと力を合わせ頑張っていきたいと思います。

事務局長 岡本 功

職場紹介

八木が谷在宅介護支援センター

2023年9月、船橋市からの委託機関として八木が谷地域に「八木が谷在宅支援センター」として産声を上げてから早20年が過ぎました。この20年間、地域の65歳以上の高齢者の総合相談窓口としての機能を担ってきました。複雑な課題を抱えた世帯を介護保険、障がい、その他諸々の制度につなげ、安定した生活を送ることができるよう支援することを念頭に、友の会の皆様や民生委員さんから情報をいただき、高齢者訪問等、協働して活動を広げてきました。



また、もう一つの顔、居宅介護支援事業所「ケアプラン八木が谷」としては介護保険サービスを利用しながら、住み慣れた自宅での生活が継続できるように支援するケアマネジャーとしての業務を担っています。在宅介護支援センターでは「徘徊模擬訓練」「地域の事業所交流会」「地域ケア会議」等の開催も積極的に実施しており、「これから先もずっと住み続けたい地域づくり」をモットーに活動展開しています。最近では、高齢者世帯に消費者トラブルが多発していることも地域課題となっていることから、令和5年3月に、地域ケア会議主体の講演会として「地域で守ろう。詐欺被害」の開催も予定しています。

八木ケ谷在宅支援センター、ケアプラン八木が谷では、世帯全体に寄り添いながら、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう関係機関と連携をはかり、支え合い、共に成長していくことができるような地域づくりを目指していきます。

悩みやご相談ごとがあれば、下記までご連絡下さい。

八木が谷在宅支援センター・ケアプラン八木が谷

TEL 047-448-6300



12/18(日) 27名参加で「流山おおたかの森イルミネーション」に行つて来ました。朝10時に馬込駅前に集合。4班(初見・高山・小柴・池田の各班)に分けて点呼。馬込駅前から各駅柏行に乗り、高柳駅で急行大宮行に乗り換え、流山おおたかの森駅へ。11/27(日)の鎌取四季の道に行く途中、東武線の車内で奇跡の出会いで知り合った山田さんも参加。電車の中で即、入会手続きをして下さいました。ヤッター!!友達の輪が広がりましたね。キューピット役の戸島さんと関本さん、ありがとうございました。

いき友の会活動

皆さんの笑顔は

イルミネーションの輝き

法典地区

流山おおたかの森駅前広場には、前夜の雨の影響でマルシェの出店はなく寂しかったのですが、班対抗ジャンケン大会で盛り上がりました。優勝は小柴班でジャンケン最強でした。全員にクリスマスプレゼントのお菓子が配られ、ほっこり。イルミネーションの点灯は、午後4時からでしたが、皆さんの笑顔はキラキラと輝いていました。今年も元気なスタートがきれましたね。今後とも、みんなで楽しく、よろしくお願ひいたします。

初見 政子

紅葉を踏みしめ心地よい散策

鎌谷 東区



12/2(金) 昨年好評の市川動物植物に出掛けました。参加者は女性9人、男性1人です。北総線大町駅から歩いて5〜6分出入口につき、林の中を途中、温室植物園で休憩し、いよいよメインのみじ山へ。今迄暖かい日が続いたせいなのか、紅葉も終わりに近づいていましたが、落葉を踏みしめ心地よい散策でした。バラ園におり、おにぎりをいただきました。秋バラがまだきれいに咲いている中を後に帰途につきました。参加者のみなさんお疲れ様でした。

並木 美代子

まだある!

くらしに役立つ制度学習

二宮 三田 二地 区

福祉制度・減額制度を活用するために市・県民税の申告が必要なことを学びました。6月に10月から医療費の窓口負担が上がることを受け自分の場合はどうなるのかを学び今回も税の学習です。この地域で2回目なので来ていただけるようチラシを150枚周辺に配りましたが参加者は11名でした。久しぶりの天気で暖かい日差しが部屋に差し込み温もりの中の講師のお話しでした。

講師の稲田さんが丁寧にまとめられた資料をめぐりながら、説明途中の皆さんの質問も交えながらの対話式でのお話しだったので理解が深まりました。質問では「高齢なのに医療費の窓口負担が2割なのはどうか」という質問が複数ありました。

日差しは暖かいのに背筋



第39回保健大学 第3講座

学員 大委 健行 保実

保健大学第3講座は12月12日(月)に二和公民館で、中村真知子管理栄養士による「フレイル予防の食事」の講義と調理実習でした。参加者は16名でした。講義では食事が減ると低栄養↓筋肉量の減少↓活動量が減る↓食欲がわかない、のフレイルサイクルに陥る。バランスよく食べることが大事とのこと。レシピは「揚げないチキンカツ」(ナムル和え)「リンゴのヨーグルト和え」の3品です。材料も手元にあるもので、チキンの代わりに鮭にしたり、ナムルの野菜も季節の野菜に変えることができ、リンゴもキウイやイチゴでも、とのアドバイスを受け、家に帰ったら早速



作ってみよう、という声が聞かれました。男性の方も慣れた手つきで参加されていました。グループワークでは、家での食事は野菜の量が少なく、味が濃いとの意見が多く出されていました。これからは、調味料も分量ではなく、きちんと計測して料理をしよつと思えました。

鈴木 律子

喜ばれた! お汁粉会食

二和地区



12月21日、今年4回目の「憩の広場」。14名が集まりました。数人の役員さんの手で、近づくクリスマスのようなお正月のような飾り付けと共に、温かいお汁粉が用意されました。3年余りコロナ禍で、飲食自粛の日々。心の居場所ともなりつつある「憩の広場」はむろん黙食で。話す時はマスクを付けて、「おいしいね」「漬物もおいしい」「こんな時間久しぶり」と喜びの声に包まれました。「おかわりもどうぞ!」おいしいものを一緒に食べるのは心がほぐれます。(※但し、今はお勧めできません) 一人一人の近況報告の際、Nさんがパソコンで作ってくれた大きな文字の名札は、名前を覚えきれない私たちに大いに役立ちました。日々の生活の中で、元気が出ない、うまくいかない日もあり、いつでも笑顔は難しい。けれど、月に一回でも心地よい居場所があれば笑顔がよみがえる。どんな小さな事でも喜び見つけ出したいですね。新しい年も皆で頑張りましょう。

安原 まゆみ

年会費納入のお願い

前年の2月にご入会いただいた方は、年会費納入の時期です。また、それ以前にご入会の方で、年会費をお支払いいただけていない方も、年会費の納入をお願いいたします。ふたば診療所友の会(11/10)・友の会事務所(11/10時〜12時)・友の会事務所(11/10時〜16時)でお問い合わせは友の会事務所まで。納入の際は会員証をお持ちください。お近くの友の会役員が、お訪ねする場合があります。友の会事務所(047-449-4417)